


 年頭所感

『あま光ネット』で島の未来を拓く

海士町長 山内道雄



謹んで新春のお慶びを申し上げます。さて、旧年は皆様のご協力とご支援により、町内産業も「白いか」を主力商品とするC.A.S事業をはじめ、築地の人気ブランド「岩がき春香」、そして上物率83%という驚異的な肉質と美味しさを誇る「隠岐牛」など、着実に売上げを伸ばし、活力ある市場産業へと確実に成長しています。

また、この6年間に138人の雇用を創出し、20代から40代以下の世代を中心に156世帯・257人のIターンと157人のUターンの方々が定住されて、その若いエネルギーとスキルが島興しの新しい大きな風になっていることは、頼もしく心強く思うところです。本町のこうした様子がマスメディアにも大きく取り上げられ、昨年は行政視察に全国から千人近い人が訪れました。

そして新常用漢字表に「海士」が堂々と追加されました。遠く室町時代に「海部」から「海士」に変わったと

されていますが、奇しくもこの時機に熟字となったことに大きな意義を感じます。

一方、国政は相変わらず先行きの見えないまま新年を迎えましたが、本町ではご承知のとおり平成21年度から第4次海士町総合振興計画「島の幸福論」の展開が始まっています。しかし、真に「このまちに住んでいて良かった」と実感するためには、集落における不安材料を把握し、その対応策を具体的に検討する必要があります。各地区で区長さんを中心に聞き取り調査を終えたところです。

各集落の現状を踏まえ、10年後、20年後を想定したさまざまな課題を整理して、急いで手をうつておかねばならない集落から支援をしていく考えです。そのために、新年度より集落支援員体制を強化します。

しかし、マンパワーで出来ることは限界があります。その人的施策を支えるのが高度な情報インフラ（基

盤）、すなわち『あま光ネット』です。

ご承知のように既に工事が始まっています。通信の最先端技術である次世代通信網「光ファイバー」を町内全域に整備し、全戸につながる通称『あま光ネット』を構築します。これにより離島での情報格差を解消し、住民の皆さまが町内どこに住んでおられても平等で一律のサービスを受けることができるようになります。

インターネットやひかり電話の利用だけでなく、福祉や医療、防災などあらゆる分野で利用できますので、これらのサービスを提供することに よつて、元気で安心安全なまちづくりに繋げていきたいと考えています。また、7月25日から移行する地上波デジタル放送も『あま光ネット』で視聴可能になり、多様な情報番組を楽しめるようになります。そして、都会と同等の通信環境が整備されることで、都会で仕事をしているお子さんやお孫さんたちも、この『あま光ネット』

を利用して在宅勤務を行うなど、海士に帰って都会での仕事を続けることも将来的には可能となります。産業振興に活用すれば、従来の仕事を効率的・効果的に改善することで新たなビジネスチャンスを生み出すこともできるでしょう。

このように離島のハンディを克服し、正に海士町の未来を拓く画期的な基盤整備ですから、住民の皆さまに有効にご利用いただくためにさまざまなサービスを検討し、順次、提供していきたいと考えています。3月末まで接続工事等で皆さまには大変ご迷惑をおかけいたしますが、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

新年も町政の経営指針に言う「人と自然が輝く島」、そんな海士町を目指し、職員と一丸となって挑戦いたしますので、ご理解と変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。ご健勝とご多幸を心からご祈念し、年頭のご挨拶といたします。

今こそ原点に戻る。 『つながり』をキーワードに人づくり

教育長 佃 稔



年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は、格別のご理解とご支援を賜り心よりお礼申し上げます。本年も何とぞよろしくお願い申し上げます。

さて、平成19年度を「教育改革元年」として「持続可能な地域社会を目指した人間力溢れる人づくり」を推進し、4年が過ぎました。この間、指針としての人間力マップの作成、「学力の向上」「読書活動の推進」「環境教育の充実」を柱として、保育園から高等学校の連携教育の推進、島まるごと図書館構想、海士中学校のエコ改修事業等を行ってきました。

昨年4月より県からの指導主事を配置し、町の指導主事と2名体制で教職員の資質向上を図っています。また、中央公民館のリニューアルに合わせ、市民の読書活動の拠点として、中央図書館を増築しました。環境教育の面では、あま環境ネットワークが活動を活発化したことを始め、総合振興計画の柱にも「環境」が採り入れられ、皆さ

んの意識も変わりつつあります。

社会教育の面でも、派遣社会教育主事2名体制で、1人は、「島前高校の魅力アップ事業」に、もう1人は、地域づくりに係わってきました。地域づくりの拠点となる「地域共育課」を中心として、古文書講座をはじめ、広報海士へのふるさと講座掲載など充実しつつあります。「地域力」を醸成する地区公民館との連携強化や集落支援事業、親学の推進なども積極的に進めてきました。

今年度は、これまでの4年間を振り返り、もう一度原点に戻って、「つながり」をキーワードに「人づくり」を進めて参ります。

そのために、教育委員会の組織を見直し、学校や地域の皆様方とのつながりをいかに深めていくべきかを追求していきたいと思っております。

本年度も皆さま方のご支援ご協力をお願い申し上げます。



【行事予定】

- 立春式 2月5日(土曜)
- こども議会 2月25日(金曜)

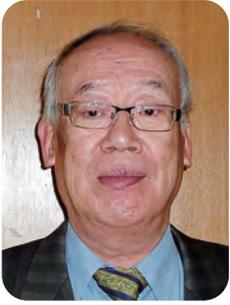
今年も子どもたちの応援を
よろしく願いいたします！

※左の写真はいずれも昨年のものです



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本町では少子・高齢化に伴い福祉の課題も複雑多岐に渡っております。社会福祉協議会では、地域の方々と協働で地域福祉の推進を目指すと共に社会福祉の充実を図り、あんな生活を送れるよう職員一丸となつて頑張つてまいります。どのような些細なことでも、一人で悩まずに社会福祉協議会にご相談下さい。また、地域づくりに欠かすことができないボランティアや関係機関のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。新しい年が皆さまにとって最良の年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



海士町社会福祉協議会
会長 大森 芳信



海士町消防団
団長 金谷 謙造

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。町民の皆様には、日頃より消防・防災業務にご協力いただき、心から敬意と感謝を申し上げます。

昨年は、家屋・山林を含め7件の火災が発生し、家屋火災については延焼先の居住者1名の死者を出すという惨事が有り、未だ心痛晴れぬ思いであり、今年も気を引き締めて活動に当たりたいと奮起しております。

我々消防団は、地域住民の生命財産を守るため誇りと自信をもって一致団結し、住民の信頼と期待に応えられる活力ある消防活動を目指して努力して参ります。火災のない住みよい町づくりに一層の努力を続けていく決意ですので、町民の皆様も、より一層のご協力を頂きますようお願いを申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様にとってこの年が輝く兔年でありますことを心よりご祈念申し上げます。

近年の日本経済は中国経済に支えられ、一部、輸出関連企業の業績回復はあるものの、多くの企業の業績悪化に伴う雇用調整が行われ、新卒大学生の就職内定率は50%台と大変厳しい状況にあります。

そういった中でも、海士町で取り組んできた新たな産業の中には、確実に根付き力強く成長している企業があります。商工会としても出来るだけの支援を行いながら、将来、子どもや孫たちが自慢できるような町づくりに、会員や職員共々取り組みたいと考えておりますので、より一層のご協力をお願い申し上げます。



隠岐國商工会
会長 田仲 壽夫



NPO法人だんだん
理事長 田中久夫

明けましておめでとうございます。平素より当法人の事業に対し、何かとご支援ご協力を賜り、改めて厚くお礼申し上げます。

「障がい者を締め出す社会は、もろくて弱い」を肝に銘じ、「さくらの家」「あまの里」「福来の里」それぞれに、より働きやすい、より住みよい場となるよう、「無理せず焦らず諦めず、一歩前進」を旨に、微力を尽くす所存です。皆様の益々のご健勝とご活躍をご祈念申し上げますとともに、今後一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新春を寿ぎ皆様のご健勝をお祈りいたします。私たち島後海士会は、海士町出身で島後で暮らす人たちが構成される団体です。過去には多くの会員がおりましたが、高齢化が進み現在では約50名と減少しておりますが、

年1回の総会で町長さんや副町長さんとお会いすること、故郷海士のキンニヤモノヤ祭りに参加することが会員の楽しみになっております。

特に、故郷海士の「まちづくり」が全国から注目されたり、表彰されたニュースを見聞きするたびに、自分達の事のように、胸を張っております。最後に、故郷海士が永遠に光り続けることを祈っております。



島後海士会
会長 平田 文夫



海士町老人クラブ
会長 若林宣男

新年おめでとうございます。私たち老連は昨年引き続き、本年も「会員増加」について努力して参りたいと思っております。特に今年の干支「卯」の格言どおり、「飛躍・跳躍」の年にしたいと考えております。

『兎の昼寝』ではなく、『兎の逆立ち』で、皆さまの忠告もよく聞き、兎が上り坂が得意なように一歩一歩目標達成に向かって努力していきたいと、気持ち新たにしております。会員数500人達成に向け、一層のご協力をお願い申し上げます。